Vol.05
2014.09

YAMAZAKI. PRESS

コンパニオンアニマルを取り巻く環境

日本最大級のペットフェア Interpets 出演

東京ビッグサイト（有明）
動員数27,347人

2017(平成29)年に50周年を迎える本学園は、創始者山﨑良壽先生の理念を継承しながら、動物看護のパイオニアとして「動物看護師」という新しい職域を確立し、これまでに1万人を超える卒業生を社会に送りだして参りました。近年、ヒトと動物を取り巻く環境が大きく変わり、動物看護師に期待される役割も多様化しています。また、多くの飼い主が家族の一員として位置づけられたペットに対し動物医療をはじめ、衣食住を充実させたいと望むようになったことによりペット業界全体もめざましい発展を遂げています。

この夏には一般社団法人ペットフード協会主催のペット産業国際見本市「Interpets」が東京ビッグサイトにて4日間に渡り開催されました。従来のペット業界にはなかった提案として自動車、住宅、レジャー、ITなど異業種の参画が目立ちました。会場ではペットとのより豊かな QOL を求める飼い主に対してシンポジウムやセミナーが開講され、本学園の山﨑薫理事長・学長と小方宗次教授が、ペット研究会「互」を主宰し NPO 法人聴導犬普及協会理事の山﨑恵子氏と共に「人とペットの真の共生に向けて必要なこと」をテーマに講演しました。ヒトと動物のよりよい暮らしをキーワードに展開された内容に、ペットに対する高い意識を持った多くの来場者が興味を持って聴講されていました。

動物看護教育に求められていること

ヒトもペットも高齢化が進んでいると言われる現代において、共に健康に暮らし、より良い共生社会を築くために、本学では高齢者の健康にイヌが果たす役割を研究するなど、時代のニーズに応えた動物看護教育と研究の発展に取り組んでいます。
これからの動物医療の現場や業界で広く活躍し社会に貢献できる人材の育成と動物看護の社会的認知の拡大を目指し、公的資格化に向けた教育の充実が本学の使命と考えています。

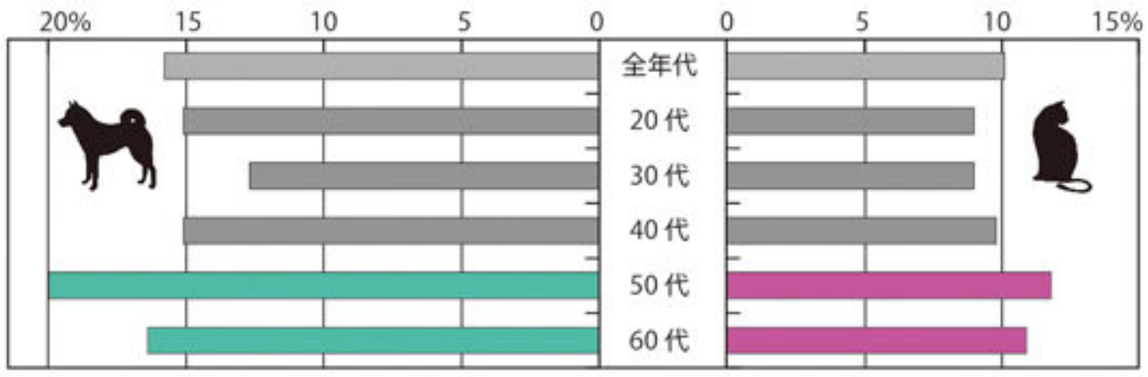
【2014 Interpets report】
「人とペットの真の共生に向けて必要なこと」をテーマに講演。（写真左）山﨑 薫 理事長・学長

■ペットにかける年間支出調査（2013 年）

犬 **33万円**　猫 **17万円**

アニコム損害保険株式会社調べ

■ペットの飼い主は高齢者に多い



出所：一般社団法人ペットフード協会「平成25年度 全国犬・猫飼育実態調査結果」より

【2014 Interpets report】
多様な業種がペットとのより豊かな暮らしを提案するなど、にぎわう会場内。

開かれた教育機関

高校と連携した進路指導

大学 専門

「高大連携」「高専連携」

大学・専門学校や動物分野に関する高校生の理解を深め、進路を考えるサポートをするための取り組みとして、連携高校向けの特別授業や出前授業などを実施しています。今年もヤマザキ動物専門学校に連携高校の生徒が来校し、特別授業を受講しました。実際に動物に触れる実習や併設された動物病院の見学を通して、動物看護をより具体的にイメージできる機会となった様子でした。

高大連携事業の推進

ヤマザキ学園大学では学問としての「動物看護」を体感できる内容を展開しています。7月には二宮博義教授が連携高校を訪れ、「イヌとネコの肉球の秘密」というテーマで動物の体のしくみを組織学の観点から講義しました。動物看護学の発展をめざしペットロスやアニマルセラピーといった新しい分野を取り入れている本学では、今後も高大連携事業としての特別セミナーや実習授業の開講が予定されています。

高校生のための国際セミナー「動物のリハビリテーションと理学療法」開催

大学 専門

主催：NPO法人日本動物衛生看護師協会　企画：ヤマザキ学園大学・ヤマザキ動物専門学校

本学園では動物看護師の新たな職域として期待されている動物のリハビリテーションを教育に取り入れており、動物分野に興味を持つ高校生に向けた特別セミナーを8/31（日）に開催しました。特別講師として動物理学療法の先進国オーストラリアよりヘレン・ニコルソン博士を迎え、モデル犬を用いたデモンストレーションを通して、リハビリの方法について学びました。高校生は英語での説明に少し緊張していましたが、通訳やジェスチャーを活用してヘレン博士と積極的にコミュニケーションを取りながら受講していました。

ヘレン・ニコルソン<Ph.D>
Animal Physiotherapy Services代表
ヤマザキ学園大学客員教授
オーストラリア初の動物理学療法博士として世界中で活躍している。

ヤマザキ学園大学　子ども体験塾を開講

大学

後援：八王子市、八王子市教育委員会、大学コンソーシアム八王子、八王子市学園都市推進会議

8/17(日)に南大沢キャンパスにて八王子市の小学生を対象に「子ども体験塾」を開催しました。社会貢献・地域連携事業の一環として、次世代を担う子どもたちにヒトと動物の関係を考える機会を提供するために毎年実施しています。

当日は夏休みを元気に過ごす小学生たち約160名（保護者含む）が参加し、イヌの食べ物や行動について学び、動物看護師体験やグルーミング（動物美容）体験をしました。子どもたちの真剣な眼差しや、輝く笑顔がとても印象的でした。スタッフとして運営に参加した在学生にとっても、普段の学びを社会にどのように活かしていけるのかを考える良い機会となりました。

学外に広がる学びの場

ボランティアクラブ活動報告「全日本盲導犬使用者の会」

大学 専門

5/31（土）に池袋サンシャインシティで行われた「全日本盲導犬使用者の会東京大会」において、ヤマザキ学園ボランティアクラブの学生48名が盲導犬の理解と普及のための活動を行いました。

当日は30℃を超える真夏日の中、盲導犬ユーザーの方や盲導犬のコンディションにも気を配りながらガイドを務めました。本学園ではこれからも「ヒトと動物の共生」の実現に貢献することを目指していきたいと思います。

グローバルな視野を育む研修を実施 2014年 海外研修 アメリカ西海岸

大学 専門

9/2（火）～11（木）ヤマザキ学園大学、ヤマザキ動物専門学校合同で海外研修が実施されました。カリフォルニアを代表する2大学「カリフォルニア大学デイビス校」「カリフォルニア州立ポリテクニック大学」での英語による研修を通して最先端の動物医療に触れたり、広大な敷地を誇る盲導犬協会や動物虐待防止協会（SPCA）の見学、様々な犬種が登場するドッグショーなど、海外に豊富な提携先を持つ本学園ならではの内容が好評でした。

小学生と考える環境教育「ゾウの未来」と「僕たちの町」

大学

紙コップを使って食物連鎖を視覚的に学びました。

「ゾウのうんちで作った紙に絵を書いたよ！」

ヤマザキ学園大学では各教員が分野の垣根を越えて共同研究を行っています。その一環として7/25（金）にアニマルセラピーにおける「動物介在教育」への取り組みと活動の場を広げることを目的に、八王子市立秋葉台小学校で実施されたサマースクールに学生と教員が参加しました。学生は約30名の小学生を相手に「動物」に関するワークショップを行い、実地体験をもとにそれぞれの研究につながる成果を得ることができました。

ヤマザキ動物専門学校 Wインターンシップ研修報告

専門

動物看護・美容学科 3年
静岡県 私立星陵高等学校 出身
掛本 治美さん

写真）併設の動物病院とペットサロンでの研修イメージ

Wインターンシップ

STEP❶ 併設 動物病院 ペットサロン → STEP❷ 指定研修先を中心にした学外へ → 内定

本校では即戦力育成のための「Wインターンシッププログラム」があります。学内に併設された動物病院とペットサロンでの研修を受けてから、夏休みを利用して卒業生の就職実績を活かした指定研修先を中心に、学外インターンシップを行い、各自に適した職に就けるよう指導しています。動物看護・美容学科3年の掛本さんは都内のペットショップと地元静岡県の動物病院での研修を重ね、着実に夢への一歩を踏み出しています。

Pick up

今年度より新しく登場した科目「動物歯科学」「動物歯科学実習」 大学

林　一彦 教授

歯学博士・獣医学修士・獣医師

【担当科目】
- ●動物歯科学
- ●動物歯科学実習
- ●病理学など

"動物たちも歯がいのち"

ヤマザキ学園大学は2014（平成26）年度より新科目が登場しています。その中でも動物歯科学は近年さらなる発展が期待されている分野です。「動物医療の現場では多くの場合、悪くなった歯に対して麻酔をして抜歯する治療が行われていますが、人間と同じようにできる限り歯を維持させることが動物にとっても大切です。（林 先生）」伴侶動物との健やかな暮らしを支える上で、日頃からプラークや歯石の沈着を予防するための方法や知識を普及させることは、動物看護師の大切な使命の一つといえます。授業では動物歯科学についての知識とスキルを備えるため、スケーリングや歯磨きなどの予防処置について学びます。

INFOMATION

朝日新聞 タブロイド誌
「わたしたちの原点」にて卒業生の活躍が取り上げられました。

ヤマザキ動物専門学校の卒業生友森玲子さんが取材掲載されました。友森さんは動物看護師として病院で勤務した経験を活かし、動物愛護活動を続けています。

話題の1冊

ヤマザキ学園大学
小方宗次 教授 監修
「アレルギーわんこの暮らしとレシピ百科」（誠文堂新光社）

動物臨床看護学実習を担当する小方先生は、獣医師としての長年の臨床経験を活かし、動物の皮膚疾患について研究しています。

学園祭情報

ヤマザキ学園大学 大学祭

『絆祭（きずなさい）』11/1（土）・2（日）

場所：南大沢キャンパス

同日開催

2（日）『公開講座 ヒトがイヌと歩くということ』
『ドッグウォーキングフェスティバル』

ヤマザキ動物専門学校 文化祭

『あしあと祭（さい）』11/2（日）・3（月祝）

場所：ヤマザキ動物専門学校 本校舎

メインイベント

2（日）グルーミングコンテスト
3（月祝）アニマルファッションショー

ヤマザキ学園 同窓会が発足

4/1（火）、ヤマザキ学園同窓会が発足いたしました。この同窓会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とし、ヤマザキ動物専門学校（学園創立以来の前身の学校を含む）、ヤマザキ動物看護短期大学及びヤマザキ学園大学の卒業生等で構成されています。

ヤマザキ学園大学 2020 年東京オリンピック・パラリンピックを応援します

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、6/23(月)に大学連携協定締結式が早稲田大学大隈講堂にて行われ、同組織委員会と本学は連携協定を締結いたしました。

ヤマザキ学園は2017年、創立50周年を迎えます。

50th anniversary

学校法人 ヤマザキ学園

ヤマザキ学園大学　動物看護学部　動物看護学科

ヤマザキ動物専門学校　動物看護・美容学科（3年制）　動物看護学科（2年制）　動物美容学科（2年制）

2014年9月22日発行　編集：広報部　〒150-0046　東京都渋谷区松涛2-3-10　TEL 03-3468-1101